

ジャンプ スタートダッシュ

漫画賞 募集集中!!



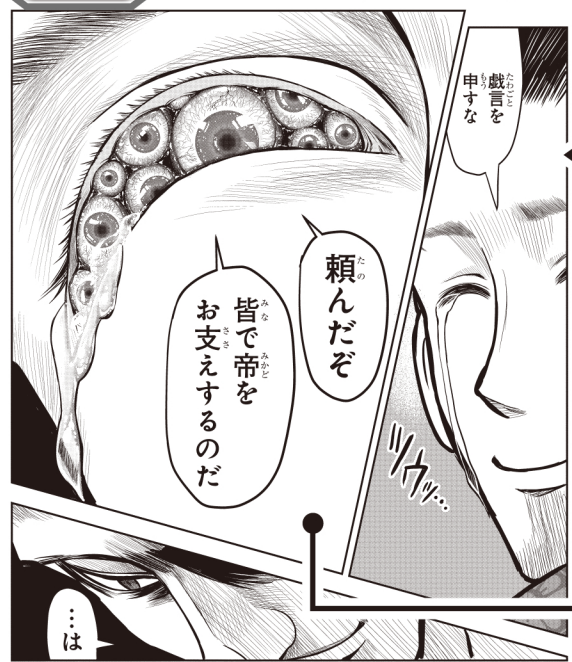
審査員
松井優征先生

3ページから応募可能な
に、松井先生が実際にや

漫画賞! この記事では、「逃げ上手の若君」を例
っている読者の心を掴むテクニックを紹介だ!!

まとめ

冒頭からどどんインパクトがある描写をするのも大切だが、始まりと終わりで
キャラや雰囲気、明確なギャップをつけてインパクトのある冒頭が作れるぞ!!



7ページ目

6ページ目



6-7ページ目。
ここで読者の心をつかむ
6ページ目は最終ページの尊
氏の印象を強めるフリに使
っている。7ページ目には複眼
を持つ異形の尊氏を描き、絵
面的にも衝撃的に! そして、
最後のナレーションが読者に
恐ろしい余韻を残し、強烈な
引きになっている!

皆で帝を
お支えするのだ
頼んだぞ
...は
じわりと
浸食を
開始した
足利尊氏と
その郎党達は...

3週連続企画

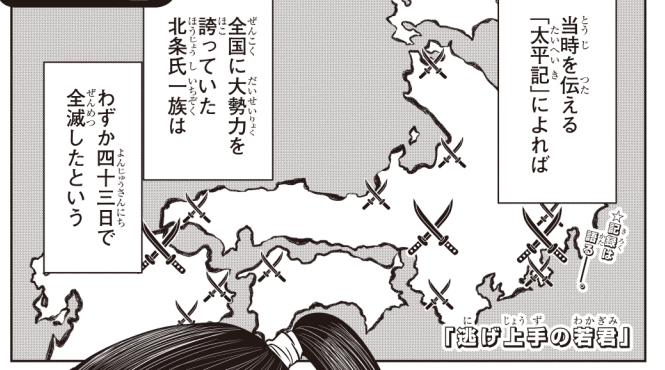
松井先生 直伝!! マンガのつかみ講座

[第3回]引き型

「逃げ上手の若君」を
例に、松井先生の読者の
心を掴むテクニックを
学び取ろう!
今回は「引き型」を
紹介するぞ!

松井先生の考える「引き型」とは、淡々
とした語り口から、最終ページに強烈
な「引き」を持つ「つかみ」方
だ! ページ単位での構成に注目して、
実際に第5話「狩獵 1333」(2021
年 WJ12号掲載)を見てみよう。

1ページ目



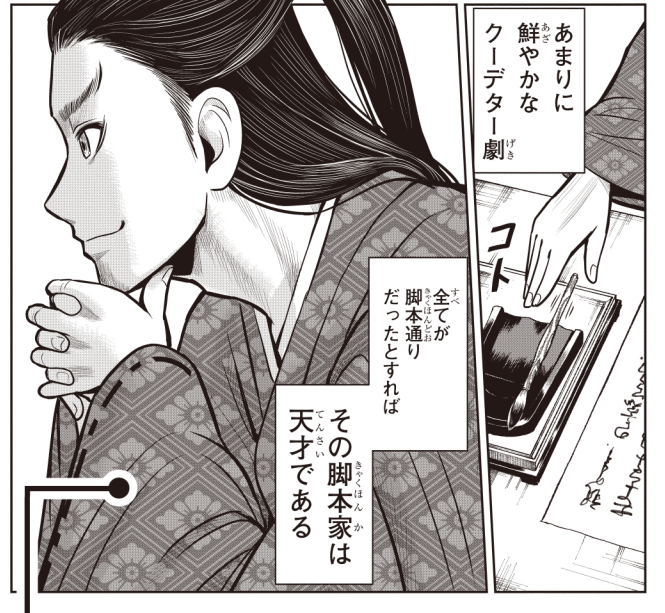
2~3ページ目



4~5ページ目



2-5ページ目では、尊氏の優しさで朝廷
の貴族たちの雰囲気は緩むところを見せ、
彼の優しげな人柄・雰囲気を演出してい
る。これが最終7ページ目での尊氏と、
ギャップを出すための前フリになっている。



尊氏の偉業を淡々と語る1ページ目。
冒頭から衝撃的な展開を繰り広げる「つかみ」方と
は違い、歴史上の記録をナレーションで語る静か
な立ち上がり方で尊氏の素性を説明していく。

※教材 松井先生作「逃げ上手の若君」2021年WJ12号掲載。